

第二五六回松山市観光俳句ポスト

第二五六回開函

「柿」主宰 高石 幸平 選

特選三句

鯛雲伊予一国を飾りけり

兵庫県尼崎市 河野 福子

子規堂の小暗さにあり秋の声

愛媛県今治市 武田 敬子

秋天を突き刺し天守凜とあり

愛媛県四国中央市 豊田 耕造

入選二十句

高高と満月掲ぐ松山城

埼玉県さいたま市 青木 かつ子

赤蜻蛉箒目美しき札所寺

兵庫県高砂市 石丸 律子

手庇に石錠仰ぐ秋遍路

愛媛県西条市 稲井 達夫

せみしぐれ城をめぎしてかけのぼる

神奈川県厚木市 岩崎 泰雄

子遍路の汗も拭かずに般若経

福岡県北九州市 大久保 義雄

秋涼し瀬戸を眺むる天守閣

埼玉県新座市 小原 啓

山畑に光りを受けし青密柑

愛媛県西条市 工藤 愛子

十六夜の温泉街の黒い猫

東京都杉並区 熊谷 悦子

城よりも温泉よりも生ビール

神奈川県横浜市 倉田 由美

お遍路の道に迷うて彼岸花

福岡県福岡市 陶山 あぐり

いさにはの坂に休みて蝉時雨

静岡県浜松市 富田 直次郎

城跡を一掃きたる初時雨

大阪府枚方市 中 次郎

蝉鳴いてやがて沈む日露天風呂

愛知県春日井市 長谷川 美裕

子規の忌を修す一人の旅にをり

兵庫県明石市 濱口 宏子

城の白山の緑と赤とんぼ

愛知県小牧市 村瀬 功

(市内)

秋の蝶追いて追われて札所径

愛媛県松山市 嘉津 二美子

聞き流すことも世渡り心太

愛媛県松山市 谷 美枝子

爽やかに下駄を鳴らして道後の湯

愛媛県松山市 向井 七子

(十五歳以下)

夏休み子規堂たずね古き知る

大阪府大阪市 庵地 紗希

どんぐりさんぼうしかぶってまだみどり

愛媛県松山市 ふじわら ゆうき

投句総数 一五〇八

市外 一二三三

市内 二七五

投句者総数 八六五

市外 七三九

市内 一二六

開函日 平成二十四年九月三十日